



にこにこだより

令和3年1月29日
中央区立久松幼稚園
うめ組担任 阿部 真秀
あんず組担任 田邊 彩子

3学期がスタートして3週間が経ちました。まだまだ寒い日が続いていますが、年中組の子どもたちは、寒さに負けずに、戸外や室内で自分のしたい遊びをいきいきと楽しんでいます。

凧

「かるた」や「すごろく」等のお正月遊びに加えて、今年度は「六角凧」作りにも挑戦しました。ビニールを切ったり、竹ひごを貼ったりと少し難しい手順もありましたが「よく揚がる凧にするんだ!」「きれいな模様の凧にしたい!」など一人一人がこんな凧にしたいという思いをもって作り進めている様子が見られました。出来上がった凧を持って、校庭やサクラ広場で凧を感じながら、繰り返し凧揚げをする楽しさを感じています。

ビニールや竹ひごを使って



「ここに竹ひごを貼るんだよ!」

「ビニールを切るのが少し難しいな…」



「揚がったよ!」



こま

2学期から引き続きこま遊びも楽しんでいます。「お休みの時にお家で回せるようになったよ」「今度はきのこ回しもできるようになりたいな♪」と少し難しくても、がんばって挑戦しようとする姿が増えてきました。長く回せるように友達と競い合ったり、トレーやお盆の上で回してみたりと、たくさん遊ぶ中でいろいろな遊び方を試しているところです。

こまの洋服も画用紙で作ったよ



「色が出てきた!」

トレーに乗せてみて…



「見て!こまがジャンプしても回るんだよ!」

みんなでこま回し大会!



「年中さんになったら引きこまもできるよ〜」

「年少さん、こま回すの上手〜」



年少組の友達と…



「何秒回るかな? 1、2・・・」



絵馬

「昔1月1日に神様の元に早く集まる競争をして、12人のリーダーが決まったんだって。今年は丑年なんだよ。」と絵本を読みながら知らせました。そこで、「みんなが元気に過ごせますように」「こまが上手く回せるようになりますように」などの気持ちを込めて、牛の絵馬を作ることになりました。一人一人自分なりの牛を描くことを楽しんでいました。

「牧場にいる牛を描こうかな」



「こまが上手くなりますように」



「どんな牛にしようかな？」



転がしドッジボール

『お助けしっぽ取り』、『だるまさんが転んだ』など、教師や友達の動きを見て素早く動くということを遊びの中で繰り返し経験している子どもたち。3学期からはボールを使った『転がしドッジボール』を楽しんでいます。「このボールは当たるとビリビリするビリビリボールだから当たらないように逃げてね」「行くよービリビリ！」の合図で子どもたちはボールをよく見て走ったり、足を広げて当たらないようにしたりして交わっています。ボールに集中していろいろな動きをするので、あっという間に体がぼかぼかし、寒さの中でも体をたくさん動かすと温くなることを感じている子どもたちです。「当たらなかったよ!」「今度も当たらないように頑張る!」と意気込んで取り組んでいます。



「行くよ!ビリビリ!」



「当たらないぞ!」

「こうすれば大丈夫!」

